



生成AIを『使える仕組み』にする 社内ルール・人事評価設計

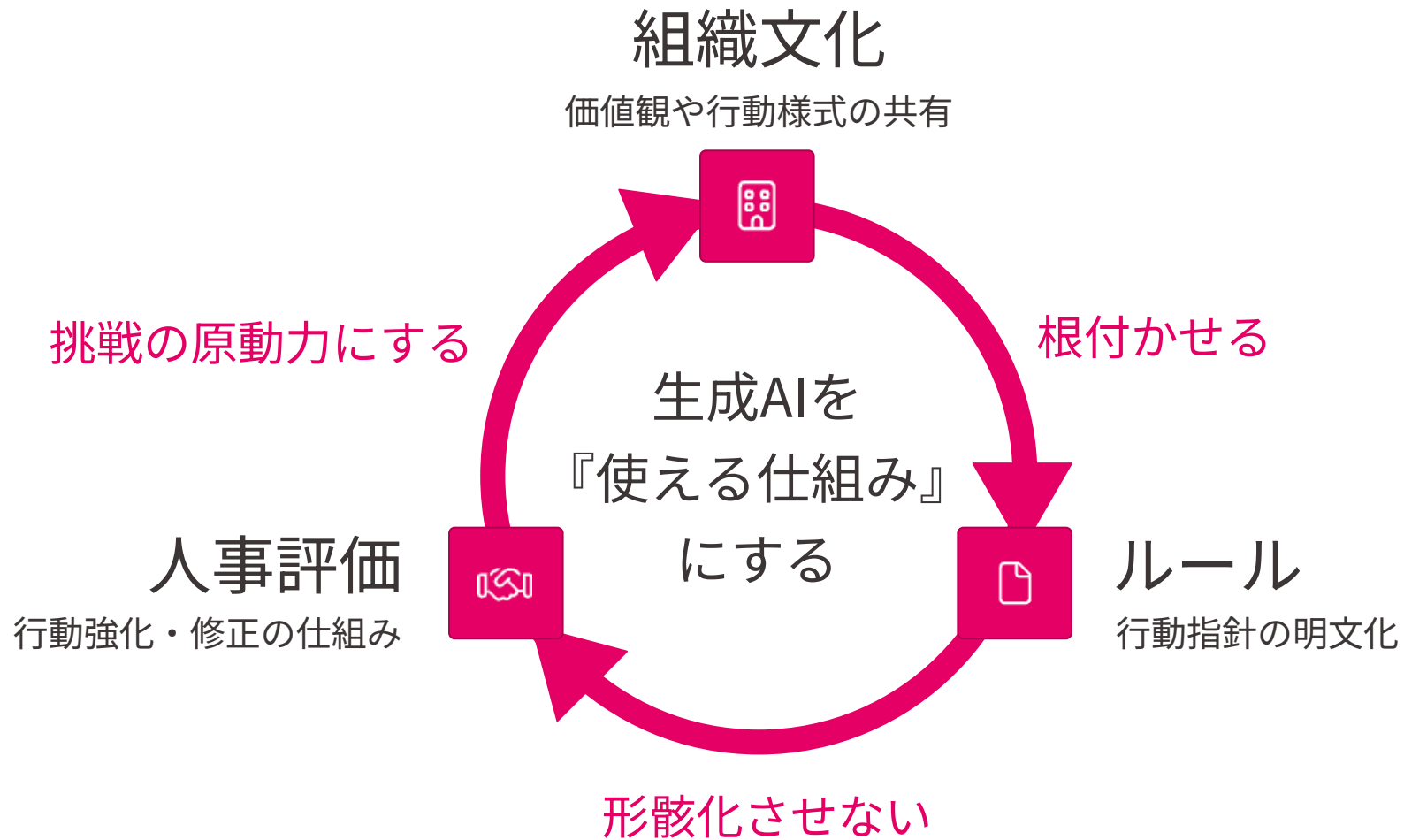
2025.10.01

IT企画開発局 室長

システムエンジニア 兼 キャリアコンサルタント

石川未来

生成AIでイノベーションが生まれる組織文化とは



形として見えにくい組織文化を
しっかりと根付かせるための
明文化したルールが必要であり、

そのルールを形骸化させないための
行動の動機付けになる
人事評価がポイント。

これらにより、
生成AIの活用で組織が期待する
業務効率化やイノベーションが
生まれる組織へと変化。

ルール設計のアプローチ

STEP 1

📄

ガイドライン整備

全社的なガイドラインを整備。また、「どこまでAIを使ってよいか」を線引きした全社・部署別の利用基準も策定

対象		カテゴリ	内容
全社共通		機密情報	顧客情報、個人情報、機密情報は生成AIへの入力禁
		倫理的配慮	著作権等を阻害しない、差別的表現や偏見を含まな
部署別	開発	コードの安全性	生成されたコードは、セキュリティホールやライセ
		モックへの活用	モックコードの自動生成を業務効率化に活用。
		画像	生成AIにより生成された画像であることを明記し、
	営業	誤情報の拡散防止	生成AIが出力した内容をそのまま顧客に伝えること
	バックオフィス	草案の補助	契約書の草案等に活用する場合は、最終チェックで

STEP 2

🔒

リスクマネジメント

外部サービスの利用許可リストの提供や、モニタリング体制の確立により、情報セキュリティ等に対する管理体制を構築

Software Name	Purpose 用途	Permission 利用許可	Usage Restrictions 利用制限
ChatGPT / Free, Plus Plan			
		申請 / Apply	
ChatGPT / Team Plan			
		申請 / Apply	WSGL (WEBSTAFF Generative AI Lab)内のみ
Claude			
		申請 / Apply	
DeepSeek			
		禁止 / NG	
Felo			
		禁止 / NG	
Gemini			
Business利		可 / OK	社内情報・個人情報は入力可

理想的なルールは、**過度に制限的でなく**、イノベーションを阻害しないこと

人事評価の新しい視点

生成AI活用力



リスクマネジメント力

AI倫理・ガバナンスを理解し、対応する力



創造的判断力

AIツールを活用し、AIの出力を評価・編集する力



ビジネス応用力

AIを用いた新しい価値創出する力

特に、AIの出力をそのまま使用するのではなく、**批判的思考を持って改善できる能力や、AIを活用して新しいビジネス価値を創出する能力**は、今後の組織において極めて重要な要素

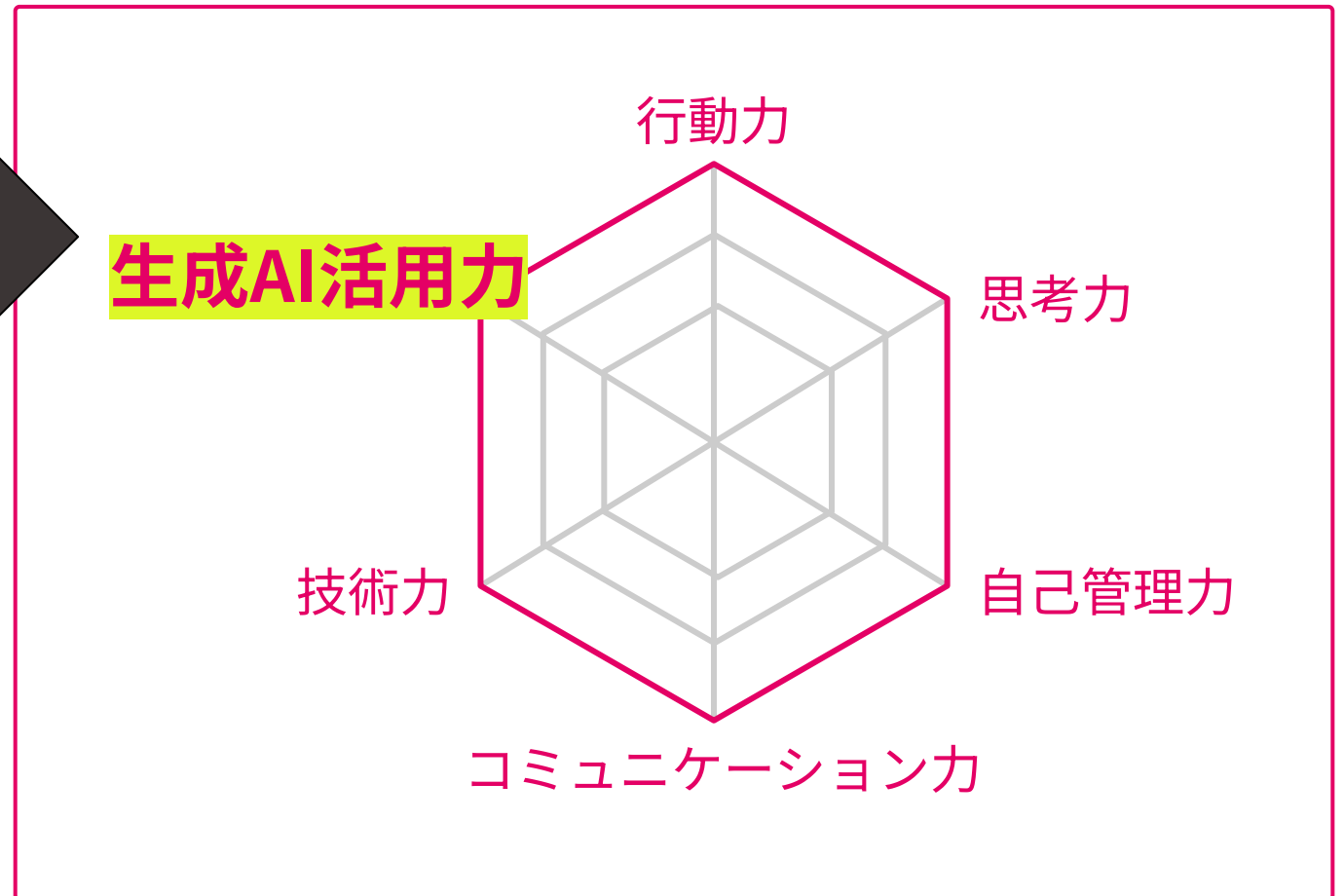
生成AI活用力の評価の位置づけ



これまでの評価軸

重要な評価軸
として追加

生成AI活用力



新しい評価軸

評価軸をアクションに落とし込む

行動力	主体性	物事に進んで取り組む力
	働きかけ力	他者に働きかけ巻き込む力
	実行力	目的を明示し、確実に行動する力
思考力	課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
	創造力	新しい価値を生み出す力
自己管理能力	柔軟性	新しいことへ適用する力
コミュニケーション力		
技術力	信頼性	スケジュールを予測実行し、バグのない成果物を一貫して提供する力
	保守性	可読性や拡張性を意識した設計をし、資料を作成できる力
	リスクマネジメント力	AI倫理・ガバナンスを理解し、対応する力
生成AI活用力	創造的判断力	AIツールを活用し、AIの出力を評価・編集する力
	ビジネス応用力	AIを業務プロセスへ取り込み、新しい価値を創出する力

評価軸
6

スキル
18

アクション
72

※経済産業省「人生100年時代」の社会人基礎力 を一部参考

生成AI活用力で評価するアクション

生成AI活用力	リスク マネジメント力	AI倫理・ガバナンスを 理解し、対応する力	1.知的財産権侵害・機密情報漏洩の防止のため、プライバシーポリシーと利用規約を理解し、 ツールを使い分けている
			2.社内で利用許可されていない生成AIツールを使う場合は事前に相談してる
			3.出力結果を鵜呑みにすることなく評価し、業務に最適な情報に修正し、結果を活用している
			4.ハルシネーションを踏まえ、人間と生成AIの最適な役割分担やUIデザインを提案できる
	創造的判断力	AIツールを活用し、AI の出力を評価・編集 する力	1.具体的な目的や目標、評価指標を明確にしたプロンプトが作成できる
			2.出力結果を評価し、必要に応じてプロンプトのキーワードや条件を調整できる
			3.汎用的なテンプレートを作り、チームに共有をしている
			4.ワークショップや社内勉強会の場で情報発信ができる
	ビジネス応用力	AIを業務プロセスへ 取り込み、新しい価 値を創出する力	1.チームの課題に対して「AIでできるか？」を検討し、活用方針を提案している
			2.ニーズに応じて生成AI、または、その他ITの手段の選定、提案ができる
			3.生成AIを活用した新しい業務フローやビジネスモデルを設計し、提案できる
			4.プロトタイプ生成によるアイデア検証ができる

今後のプラン

1

チームの生成AI活用状況をヒアリング

生成AI利用状況の把握と課題を明確化、
優先的に取り組む領域を特定

2

ガイドライン策定

絶対に抑えておきたいポイントを整理

3

リスクマネジメント

生成AIサービスのリストを作成し、リスクに関する認識をすり合わせ

4

小さな評価基準を試験導入

使用事例を日常ミーティングで共有。評価基準に照らし合わせて課題整理

5

／ 現在 ／

継続的改善

定期的な振り返りと評価を行い、精度と規模を拡大